阿羅野

上

文研
911.33
Y31a
1

911.33
Y31a
1

文学研究科
中村俊定
No. 64

早稲田大学大学院
文学研究科図書

C 557

尾陽蓑笠庵主人荷兮子集を
編くに是れあらんとすいふ何故ぞ此句
をもて戒むるにあらひ
やるるに出るに拂ふ綿蓑をし
はらるるに出るに拂ふ綿蓑をし
いふるるはうるに拂ふ綿蓑はるる
世をかるに拂ふ綿蓑はるる
はるる京はるるに拂ふ綿蓑は
ふるるるるるに拂ふ綿蓑はるる

[illegible]

元禄二年弥生　芭蕉　桃青

荒野集目録

巻之一　花　郭公　月　雪

巻之二　歳旦　初春　仲春　暮春

巻之三　初夏　仲夏　暮夏

巻之四　初秋　仲秋　暮秋

巻之五　初冬　仲冬　歳暮
巻之六　雑
巻之七　名所　旅　述懐　意　異常
巻之八　釋教　神祇　祝
貞外

東京都立中央図書館

曠野集巻之一

花三十句

よしのにて

[illegible]　貞室

[illegible]　路通

[illegible]　信徳

[illegible]　晨同

[illegible]　交五

山里の咲のこゆる花ぞうの那　尚白

行すゑ遠き人の長刀　去来

みなの雲すこしはなれぬ　野水

まるかあの下戸引て来るいなから　亀洞

下こかけてちるといまゝ仏んの花の咲　越人

也風の山茶わくふる枝もなし　一井

尺あまりふたとゝ成ぬ花の滝　津鳥　俊似

兄弟のいろはあきらかものとさ　嵐蹄

ちるとさをこぼすなくく　舟泉

冷汁の数てよりの花乃陰　胡及

さつ花の雨の傘もいまいます　長虹

笑舟乃花咲るまりの雨乃　信濃鳥　卜枝

ゆるとゝなるとゝ迄きりぬの枝　岐阜　鴎歩

連こつや泥まきたうゝ花ぞ時　荷兮

疱瘡乃跡まるとゆるまるゝ　傘下

あるまを面や風車賣花乃とき　薄芝

花よさてうゆうしてゝ成ぬ　こつ

山あひの月ゆ見ぬ　月ゆ見ぬ　心苗

花ゆ見ぬ　石地蔵　宿もとめの雲　越人

なつあひやまつむらゝ　あらゝ　野水

猫来てゝ交遊ひきり花ゆやき　冬松

花ゆ見ぬ　さゝ〳〵　延月ゆ海色上ゆ　冬文

着ゆ〳〵　てゝ思ひ　むらゝ　跑　荷兮

ほのゝゝあるゝ人乃縫

月ゆ見ぬ　ほのゝゝ　ひとり　芭蕉

あゝ人乃山家よいすて

櫃乃夫　ゆ見ぬ　かよい　ゆ　ゝ　同

杜宇二十句

ほゝゝゝ　ゆ　ゆ　くもの

夜ゆ〳〵　夜　やるゝ

名笠乃夏月　ゝ　ん　郭公　季吟

月よりも青葉山ほとゝぎす　神の一木　素堂

いそうきあるうり実も森閑　魄　釣雪

境閑のひうと沈むしやほとゝぎす　越人

おひし子乃口もとするや　洋葛　松下

跡や先爭ふ蛍部公　皇五

ほとゝぎす三絃のうきうむ野の廣　き　柳風

ある人の古屋にて発句なきをとゝ

ほとゝぎす

かやうきぬかとも鳴る那　嵐彈

晴ちきぬ京の空のやう　落梧

故郷奥九戸宿うつてや時鳥　一髮

三歩ノかと跡乃行のやう　鄙公　同

涼よて

かやうきぬ十日もはやき舟の　風泉

蛾ほとゝぎ宿入らぬ先の浮きぬ　岐阜　杏雨

あゆのやうと鳴て笑　鄙公　傘下

くらかりやカの弟一さほのくさ沢　同

馬とるよくあつあつあひきつ郭公　鈍可

岩くあつとほきの月ゝ

みちゝるゝ月ゝ引ゝ

ものかるゝふくゝ花人ゝ家ほゝくさ沢　大津　智月

うつのつとやうはゝ城をゝあつ月ゝ　李桃

うゝかゝ梨とまゝのゝ秋ゝ沒ゝくさ沢　市山

月三十句

かるゝゝ也笹乃らゝ弟ゝ月夜ゝ　十三歳　梅舌

ゝゝ秋ゝ月ゝ月ゝゝる井の猫乳　湍水

月ゝる川ゝひゝとりかゝ弟ゝ月ゝ　一雪

雨の月とゝゝ弟ゝ引ゝ蓬ゝ月ゝ　越人

きゝとゝさゝゝ月ゝ月夜ゝ　昌碧

屋ゝ梨の青ゝゝ月ゝ　津嶋　市柳

秋ゝ弟ゝ月ゝて御ゝ月夜ゝ　一髮

とこしなへにもてあそぶ月の野中の　長虹
峠とる夜抱く月　くこの郷　任他
一つ屋やいとくるくるふのつき　亀洞
名月のあ[illegible]あはなのひきり　越人
名ちやらに十二もきもきもち　文鱗
名月やふ[illegible]ぬてしけるく舟　昌碧
めいもつやちてあつくるよ井　傘下
名ちや敷乃屋夫乃ちる　二水

見渡もつ此し笑文てくん乃月ん小　野水
名月乃ふ心いろ[illegible]
むつし也月を見ちはち火を殘ら　荷今
二の月もあとぶ高神て義也　同
名月や海も松毎こ山もちす　去來
めいきつ西下ちやとむつきし　胡及
名ちへ沙一まあつきもるゆ林ゆ　釣雪
や月ちんし抱きさひ也月の影　一髪

十三夜

新蕎麦に茨木見せぬ和尚月哉　枝風

朝月

暮いそぐ月乃氣色迄海乃泉　荷兮

二月

見る人もたゝなぬ月の夕の雨　仝

三月

何ゝ姑見ぬ三ヶ月　芭蕉

四月

夕月夜あんどんてゝ走ゝ　卜枝

五月

何日ぞも見さゝめ夜ゝ月　伊勢　一泉

六月

銀川見習ふ姿月ゝ　巴崎　鶴聲

七月

鈴なりゝ月哉　紫草　一髮

雪二十句

大津にて

雪の日や船頭のく新乃ゑ　其角

いとゆのむ雪もとゝまぬ一瓶哉　芭蕉

什乃雪降て黄なく萩の風　塵史

かさなるや雪ふる山只乃山　京加生

車道雪なきとゝく乃あゝ風　加賀小春

さつ雪ふりてうゝ顔を洗ふ　越人

はつ雪に戸明ぬ乃あるとゝ乃風　是享

ものゝけの明ぬ地ゝ雪の一川ふ　松芳

ゝゝと雪に初張見ゝゝ乃雪ふ隈　二水

雪降て一ゝ乃ゑゝ雀ゝ那　鬼伯

雪乃ゝ雪ゝゝゝ雪ゝゝ枝ゝゝん　岐阜陳風

ゆきゝ乃はゝ川ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　鷺汀

初雪や村一に降ぬ雪の簾也　傘下

雪ふる江の大舟ゝゝゝゝ小舟ゝ風　芳川

雪乃名から鮭とくる魚屋　冬文

雪ふる音やさらさらと鷹ふる色　桂夕

ちらちらや濱宮かぶる強飯　荷兮

さつ雪や先ぶる屋にて隣まで　路通

はつはつ雪のくるる所　野水

舟かけていくらか海の雪　芳川

曠野集巻之二

歳旦

二日よりぬるのあるを花の春　芭蕉

多神人のまかりもかしなり乃春　釋古梵

ひつのあやはれ千年弘法の縄　風鈴軒

松のそとと伊勢の家買人を雇　其角

うぐひの音連歌あるすみかあり　文鱗

月雪ふりぬとあるまつの松　玄來

かさなる木ゝなれる梅か　一鼎
元勇や何とも神さびぬる　路通
元はさゆるものすゝか　加賀　一笑
歯固ゝ梅乃花むかしの郷　大垣　如行
姫ゆゝ社老ゝ松ゝ孫ゝの春　岐阜　落梧
ゆゝしらのきゝ人ゝ雪ゝ梅　亀洞
伊勢浦や清水引体世ゝの春　同
ゝふゝ乃花ゝつゝ人むかの梅　昌碧

去年の春ちくさの草ゝ　元廣
小栖子栗やひろゝむゝつのゝと　舟泉
ゝ男子秋ゝを春ゝひきゝ　同
山業ゝうゝ白ゝる竈ゝ郷　宣五
松高ゝ引鳥浦ゝ千年ゝ　釣雪
月ゝ乃初ゝ琵琶乃木ゝ　同
連ゝゝゝ子ゝ浦ゝ世ゝ万歳ゝ　一井
うゝ白ゝゝる神のゝ風ゝ　胡及

久松ほうむてや新ゐ五ちの海　長虹
と弱ゝ起て縄婦しかるく柳ゝ　嵐弾
さゝ姫ゆふいゝ函いつるゝ苔　同
蓬莱や舟の通ゝ孔うんなくて　湍水
佛ゝゝ神そ岩ゝ起ゝ新の　京　と矢
のゝ宮やゝの且ゝをつのゝゝん　朴什
ゝさゝとたゝ心ひゝおすたゝ和　冬文
正月の魚乃ゝらや炭屋りゝ　傘下

ゝ氏弦素寂しかゝゝ風ゝ新　冬松
あいゝゝゝ松あゝ門ゝ梅ゝや　柳風
大服ゝ吉ゝ年のゝゝ繁弦旬ゝ　阪川
学弦ゝ学ゝ神ゝ年ゝ　大山　昌勝
傘に薗朶かゝゝり元方ゝ新　夕道
神すゝゝ松の葉ふ葉るゝ新の表　梅舌
岩ゝゝゝむゝ所やゝつゝ大ゝみ　野水
曙ゝゝ弦ゝ和やたゝふゝゝ　同

[illegible]紀なる賢勇　越人
初夏や濱の[illegible]橋乃[illegible]ぢ波　同
[illegible]や志津ヶ階[illegible]の夏屋　荷兮
萬歳乃[illegible]隣[illegible]　同
已のれ[illegible]乃[illegible]な　同
我い[illegible]月[illegible]　僧般齊
[illegible]式[illegible]　真室

初夏
若草つむ跡[illegible]刈細小　越人
[illegible]出して橋[illegible]小　野水
七草を[illegible]　洋嵩　俊似
女[illegible]小　加賀　小春
側[illegible]紋乃[illegible]　藤羅
吾[illegible]小　岐阜　素秋
石[illegible]梅[illegible]　玄察

梅の花　鷗歩

むめもぎもとの乳のあるまでに　越人

藪入の為にかりよあらん梅の色　落梧

梅折てあるとなく思ふ乳の肌　一笑

夢ともなきむめのすはいそ新あき　冬松

みのむし　とふ神ぞ梅のさうの外　蕉盌

綱代民部の息と遊ぶ

梅の木よ赤をやとアとよや梅ぢの花　芭蕉

うぐひす次の乃ゆそこあるる嵐の前　長良　若風

雪ちらいつや俳ひ沒ふ片ふまる　支夾

あきはのや雪とふる物紙　伊賀　一桐

雪ちらちいさき嵐の物の紙　洋嶺　一笑

うぐひす変ぢ色と脫さる新市の外　同　市杉

雪ちらや　なみもあるやの形の安　同　夢々

うぐひすに乃波こふるあしの外　梅舌

ちやうすむ夕をきの盃の邪　野水

[illegible]　麻交

[illegible]人乃袖を[illegible]　冬文

かぬ[illegible]やうの[illegible]一二寸　芭蕉

[illegible]の[illegible]島の[illegible]　傘下

水仙乃[illegible]　路通

[illegible]　荷兮

當座題

[illegible]

つ[illegible]の[illegible]　丹泉

梅木

つよ[illegible]　傘下

椿

[illegible]　荷兮

同

[illegible]　卜枝

春雨

[illegible]　湯水

一同

[illegible]の雨[illegible]とも[illegible]てこと　氣弾

白尾鷹

[illegible]も[illegible]と乃鹿つま[illegible]白尾小　野水

蛛乃井よ[illegible]ら[illegible]　奇生

立[illegible]の草[illegible]こ[illegible]　土蔵　亀助

すこ〳〵と[illegible]　橋きりぼく　舟泉

すま〳〵と橋やつますや土の手　其角

すこ〳〵と[illegible]の[illegible]土筆　蕉笠

土橋やとこ[illegible]　塩車

川舟やま[illegible]のへ[illegible]つむ土筆　冬文

ぼく〳〵し頭巾に[illegible]　青江

蘭[illegible]乃[illegible]人池[illegible]

[illegible]

池と[illegible]　[illegible]書[illegible]柳[illegible]　素堂

風の吹京にはなちやかるる　野水
行くすゑ遠し　柳水　越人
さゝ〻柳岩もとあらはるる　一笑
尺ばかりなる柳　小春
すの絶〻　柳ちる風とまる　一笑
さとつきて笑をもる　柳水　昌碧
さゝ絶ても髮のゆの中の柳水　杏雨
さゝ〻ゝ植よ　柳水　洲橋

姉ゝの樹ゝ牛のゝもむく　柳水　杏雨
吹風ゝ屋ゝゝ　柳水　松芳
う嫁姉の地ほちの　柳水　接遊
いそうしき野鍛冶　柳水　荷兮
蝙幅ゝみゝ　柳水　全
青柳ゝ絶ゝ直ゝ車　柳水　素秋
引いゝゝ後へ　柳水　鴎歩
菊乃名ゝ絶ゝ植ゝ　生林

仲春

麦の穂に芒末ふれる嵐哉　不悔
菜ばたの花や枝葉の土手あいぐさ　長虹
なの花ばたけ雲ゆきうつる日影哉　傘下
菜ばたの畦うち除草なのめ小　清洞
うつくしき人文で畑うつ蝶の群　去来
丁歳を仕舞ふくらうてる赤黒　昌碧
つしさよづしわろくさくの風　越人

廣庭の一面桃しいちめん小　笑艸
どこ〳〵も義士さくらの咲よりも　除風
手のとゝく程もたゝぬ桜小　一橋
うしし張とゝ死枝の桜小　冬松
ちこ〳〵やし山中くゝ鶯もむまれ　一髮
ちる風よちるくゝ鶯る雪ゝ雀小　野水
あふのそこに霞てくゝむ形迄ゝ雀小　除風
うる色よつくゝをあうむる雛子の那　一雪

はるゝを惜縄解てやる雛哉　塩車

手を伸て二の戸あける春雨哉　山崎宗鑑

ぬるゝてい戸あひ戸地かたつむり　落梧

あの つまをまむしこしらゝる蛙　越人

くすぶる戸骨おるる春のかまつか　去來

乾入て志ほゆく蛙の肌　落梧

不圍と乾て後ふ居あを居性ふら　洋鳴　松下

ゆふやみの夜細ゝいる蛙の影　一井

さつ燈を史乃尺初多ひ　柳風

樓桐の際に咲てゐる胡蝶　梅餅

かやゝ形市をおる風ふてふ風　欣玉

加紙せやゝ際ふゝてい胡蝶　百歳

蓍蕗

河形氣もつゝ女子士ゝ形菫ふ　忠知

狐ふゝと馬ふちゝ地菫草　荷兮

かゝろくの士ゝ形緑ゝ菫ふ形　野水

屋たちのとはりたす洞の苔ふ　舟泉
草刈て莨選おすうるう里　う那　鴉歩
り蝶れとゝ海見殘さぬあとみゝ　燭遊
麦畑乃人えゝ休たるの塀こう那　杜国
きけ山や勝の月れすゝ所　大切　或之
ほろ〳〵と山吹もるの濡乃音　芭蕉
松明くや乃吹らすし英のい泊　野水
山吹とてゝのすき死地あゝ　ト枝

一ゝきうの中山吹のゆくゆへう那　岐阜　襟雪
ことはなてゝや乃ぬさ吹そくいゝ　同　蓬雨
あるふゝも梅くゝとも燕りな　玄来
ちゝ後の巣ゝ土ぬ見ゝ燕ゝ　俊似
いまさゝゐとゝいも地ちゝの燕ゝ川　長之
燕乃巣ゝ覗ゝすゝゝ　この那　長虹
英昏ゝたてゝゝゝ燕ゝ　嵐弾
友減ゝ鳴ちゝいゝ英乃屋　且菓

角落てやすくもとえるる小藤から　蕉笠

あら浦の波の秋なれ浦の塩干から　越人

わかやもこもし閑なる桃の花　傘下

人なるむ舟と陸と塩干の那　三編　友童

山よ油ゆ毛吸ふ蹴蹴の風　荷今

朧夜やあくてさ藤さ藤のむ　三兼正

舞火よ義のもくもくの地物舟の那　亀洞

永きはや種寒の地もくの地し　卜枝

永きはや油きの水乃ちの春　鈴水

り春ゆあくゆ塩くくの地し　同

曠野集巻之三

初夏

こうばしかへや白うるを抱て行　路通

更衣袖ふれたるやたしなさま　傘下

うるもうへ乃もとしてうるはら　釋

肖柏老人乃もちたまひし山とりふ
ものとるのもをむけ文雛かゝる
とて雛の乾越人の持さるを忘れ
ゆゑ乃ちの文雛よりつくしなる

蚤よ燒まいとあるまへしこうるもうへ　荷今

山路を

なつ来てもなほ山路を分る雪　芭蕉

いちはやき花ちるなんさつき雨　一井

榜ぎ木すいこまるる梅ぶき　越人

切ふちの門ぶをとゝ神を梅ぶ　岐阜 不交

ゆ梨うまくよなのもの木ぶ　同 藤蘿

ひまもなくその木ぶ梨ぶ　亀洞

ぶらくとゝもの梨ぶにこする蝶ぶ　竹洞

冲あしいつゝ梨ぶ見ぶ多ぶ　鈍可

きけ山やトぶの澤ぶ　木夢々

上ケ土よいつゝ猪ぶて麦一穂　玄察

枯色ぶ麦ぶの見ぶ涼ぶ　生林

麦ぶて葉乃木ぶの見ぶ　作者不知

むさぶてよぶの屋ぶ蓼ぶ　鈍可

ぶ〳〵茶ぶ沢ぶぶや蝶乃羽いろ　嵐蘭

鳥飛てあふ風さけしの一ぶ　落梧

けし散て雪とくゑまれぬ　岐阜　李桃

大粒なる雨さこゑまえ　東巡

茨ひとひ見ぬ拾ひぬ茨子のむ　吉次

你川の居まて

菴の雪もみ〳〵くなりぬすとて　嵐雪

さひしさのこれはえてかつこ　野水

仲夏

蛍飛ぶ笹の葉ごとにとまるく蛍の風　櫻井　九峰

刈草の馬屋よりはこぼるる風　一髮

忘草の障子をのぼる蛍火　不交

閑居にてとくさ人吟蛍の影　風留

色和く蓮生地獄の蛍の風　青江

あるじ蛍ものとまるく蛍の那　含呫

くさかつの油にとかあるく　卜枝

多波て儒る油はくらはてるのな　鴎岸

そもて葦室ゆとあ〳〵地なる

こゝらのやしのうくあやめぬれ葉哉　秋芳
故の山路て梅乃一本や冬日哉　小春
うやゝしや夏百せはくなるとよなる　杏雨
五のゝ紙傘乃ゝるるる雨蛙の風　二水
蚊乃痩て鎧ぬうへよさりもを　一笑
蓮葉ぬ雫こぼるる延て牡蠣の風　胡及
培引て藻の心ちやむ暑さこの風　児竹
足伸へゝ姫百合竹わゝすをれ小　此積

竹乃子よ行燈さけてまさりもを　長虹
笋乃時ゝを走ゝ乃ゝ竹　玄来
関杉紙を貴くゝでもあを水鶏小　野水
五月雨よ柳を小ぬ行ゝ那　天陣 一龍
この花ちい粒ふなり蚊也月ゝ雨　尚白
ゝゝ雨を傘よ走ゝ傘のさを雨乃小　兎洞

岐阜まゝく

杉ゝ乃ゝ乃ゝさゝ小ぬ物縄小　貞室

花なし所にて

ものしろうてやうくかはりき　物無き　芭蕉

おるしく

物のほうゝ舞こゝ所にて傳や　荷兮

同

夢あるは能登路舟　越人

生ふりの家もかまくら物無き　大津　淳児

曲江の舞のゝえ姿うわくなし　梅雄

野ぶ墓のゝえさうりあるをかれを　路通

松ぶ保をゝるる夏野ぶ　卜枝

虹乃橋をかゝる野中乃樗ぶ　鈍可

蘭花花や泥さゝ所ゝ雨乃雨　同

樹ゝや蔦絡書人をゝもゝん　越人

冷しや灯のゝ所夏乃あさ　藤羅

夏ぶ茶やゝゝ火ゝ簾ゝ星　且来

菴乃茶ゝ

すひつさへとこをすり　其角
夕ゝかやゝ秋のこゝろ　芭蕉
ゆふゝほのしほもを人乃さゝめく　野水
夕臭き改乃ゆふのさゝ波小　僧雪
山路来てなゝかみ法のものゝ小　津嶋市柳
見き色ちはゆふゝほゝ似ゝ　長虹

暮夏

梅毛動くやうゝ蟬　昌碧

雲北ゝ腦うけ沉たゝむなり　野水
夕ちよゝ傘ぬゝ　傘下
ゝゝさて板もやゝ　玄旨法印
ゝゝ水陽小
降ゝ白雨のうゝ入ゆ　去來
簷雨ゝ下涼し山家のさいりゝ　荷兮
ゝゝ孤ゝ物あつゝ　同
松もとすの人よ通ゝ夕涼ゝ　鳴海如風
苑石乃石彩草ゝ下涼み　津嶋後似

漕しさわ樓乃下ゆくあの音　仝

桃燈のとろゝゆらゝ漕く舟　卜枝

すゝしさにわきたてるかゝる川辺ふ　未學

吹ちりてあれらへ遠く導う那　岐阜　秀正

蓮みむはりさうや市をわるさる　松坂　晨風

笠をぬてみれゝ蓮こ雲仮り　古梵

河骨こあのわ秋ふ　芙水

こゝゝと志ゝこ松の古枝ふ　長江

すゝこりて塩干ふ沖の清あふ　俊似

連あゆこ待をて孤ふ志ふ　文瀾

引立てゝ馬にのゝ思ふ志ふ　遼月

からゝゝを後美ふて清ふ　尚白

也楽ふ数ふ志ふ孤ふ　一髮

出ほゝや幕を蛍こえさゝむ　卜枝

麻のふ皆こ湯ふ仕ふ路　岐阜　李晨

約種美後こ付こ見ふし　越人

綿乃毛さへ蘭く仰るもの哉　素堂

曠野集巻之四

初秋

ちくさなや麻刈あとの秋ぢ風　越入

桔梗やかるゝ炉の風　圓解

松嶋雲居のもとに

一ふく茶の青くさきうしろ　仙化

ふるゝのちゝ秋のゆくき　洋嶌　方生

男くさき花相撲ぞ星ぢを向ひ　杏雨

鶯や垣根まつのきりくさ　文蟻

あさがほや白きもあれぬ也　荷兮

子を守るものゝらひ泊の夏なるべし

鶯鳥なくやるなくふるもの　同

隣家の秋あさがほ作るうつしけり　鴎歩

あはらかやひしくゝものゝ秋月　胡及

蛍ふくろのいはやあの音　崩禅

秋風やちりきりうつる法ちん　去来

涼しさを度度ちつる鶏の那　昌長

暁道くゝ蛍ねすゆるいあるもの　鷺汀

まつむしも通る海の月きりり　一髮

きりゝす鳴て尾ばくいのきり　素秋

あはれ雲を稲妻を待たくるかな　芭蕉

いなつまやさのゝ中を東ふる　西

蛍の飛てもあるくるやうつるやあの秋のむ　舟泉

ひよ鳥くと羽をあたゝめや女郎花　芭蕉

棚作に色さゝ[illegible]菊小　作者不知

草やゝ[illegible]かゝ[illegible]もゝのあかみ　伏見　任口

[illegible]ゝ[illegible]の燭をあくる蛍火　荷今

行人や蝙[illegible]ん[illegible]蛍　胡及

宗祇法師のこゝろにて

[illegible]小[illegible]ゝ[illegible]　素堂

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]る[illegible]　俊似

仲秋

かゝ[illegible]乃[illegible]の[illegible]秋の[illegible]　芭蕉

つくゝと[illegible]秋の[illegible]　加賀　小春

谷川や茶代衣[illegible]ゝ秋の[illegible]　陣鳴　益音

石切乃[illegible]秋の[illegible]　傘下

[illegible]や蝙蝠[illegible]　卜枝

[illegible]の[illegible]人の[illegible]　一変

田[illegible]畑[illegible]　伊豫　一泉

山ぶかう庵をかまへて侍りける　重五

紅葉ちるこしたのかけの間　其角

さゝ波人をあはれひてるふるさとの　東順

義仲　くれぬ中　ふるさとの枝ぶり　林斧

とこやしく　ゆくすゑの長生　越水

つの国のとこやつゝ秋のこゝろ　宗和

つのくにの庵さゝらの柳　加賀

雨もさぞ秋なるとこの秋ぶり　小枝

主水書へたりうりて

丈すの寶ゝ秋ぬきつゝふる蓮の　越人

一ぱ乃芦ゝ穂綿　ゆくさ　防川

松の木ゝ秋ぶる秋の蝶　舟泉

ちゝとして寒ゝ池ぬ段ぶのとゝ　胡及

ゝゝとかゝらぬ市のさぬゝう那　曉髓

関のふゝ年ゝあびゝ

さゝ波孫ゝゝゝ志ゝ伊ゝ安　其角

くーのよて
さぬるうちて秋之哀　芭蕉
しそかしの野本ゆ京の東遠星　加賀　一笑

暮秋

なまもゆるく梅一うの菊乃白さん　巴丈
さしの菊代ちぬそかの口花一ゝを　島碧
山路乃さゝ、砂菊のもみちひとを　越人

一ゝ高作ゝ如ゝ菊ゝ作ゝ　曉語
荷ゝの室之孫ゝ孫ゝ所ゝ菊ゝ世
よし菊ゆさゝ土器ゆ花ゝ

かゝゝ花乃ゆさゝ世ゝ菊ゝ　其角
菊ゝ乃ゝ酒ゝ人ゝ　髭　帽子　同
乃ゝ人ゝ菊ゝ作ゝ花ゝ乃ゝ　二水
かなゝりゝ菊ゝ之ゝ人ゝ乃ゝ　伊豫　千居
滿ゝ一ゝ　さゝ　檀ゝ乃ゝ実ゝ　濃か　芦ゝ

咲こるなすものこゝすちゆめ梅もとき　加生

青ゝ竹穂やきゆく春ふるゝ　路通

曠野集巻之五

初冬

あ[illegible]つちのもの[illegible]こゝはる暁風や　湖春

京ものゝ[illegible]きしき

一あこさて〳〵三井まるゝ〳〵神さま　尚白

きつゝ[illegible]池伝ひ[illegible]ひおすこの夕　湍水

百句真行

えもるとゝ[illegible]ふ人のやこゝ[illegible]はけ[illegible]ふ　荷今

人を待つとて月の
こと葉を枕にうちてのぞみ入る　落梧
物うきものの下陰のうすきに秋の風　炊王
涼しさやうの色袋をうきに秋の風　傘下
こがらしよ二日の月の梅さきちる　荷今
つぼつて柳の絮ふるく成るかな　一髮
このもとに酒をすゝめ酒を酒　同
枇杷の花人のつもりの木陰の風　洞

李晨
野水
昌碧
仝
一井
落梧
胡及
文鮮

梨の花乃もとにまくつゝてさくるゝ
梨の花乃もとにまくつゝてさくるゝ
蓑虫乃いつくらうるゝ帰花
麦ばかりさつて青一襲さかしき
ちらし〻ゝ麥ばかりの表うへ
雉子の鳴やあるゝ雉子
石臼乃破てくおつるゝ花
青くさくもくちるゝ

ひのもとしを初紅葉の萬うの　卜枝
みな枯と風乃体なる野小　洞雪
蓮池をちらすなら白こそ思ふる枯葉小　一髮
雪の春ふく石きほまつく加地小　松芳
こゝかしこと吹とそ紅葉の帯　杏雨
雪の梅花咲とひとるの苺　蕉窓

寒月

梅ちるあらく月夜西白　野水

あさ漬乃大根あ詠ふ月あ小　俊似

仲冬

れらしをく種とつあ宿小　津嶺　勝吉
志ら浪とつきたもる雪あ小　津嶺　重治
楓くくるの鳥巣に寄るあれ小　林斧
紫野ふくるやむ雪小　杏雨
い出らしの紫を松ふ雪の月　宗之

[illegible]ん乃家[illegible]　杜國

[illegible]棚乃葉[illegible]　勝吉

涼さ池水[illegible]　俊似

つきぬ[illegible]　除凡

打水[illegible]　夜舟

兼題雪舟

峠[illegible]雪舟[illegible]　嵐蹄

ぬ川く[illegible]雪舟[illegible]　荷今

[illegible]こめて雪舟[illegible]　長虹

馬[illegible]雪舟[illegible]　一井

雪舟引や休も[illegible]　亀洞

つもの[illegible]雪舟の[illegible]　含呫

青海や羽白黒鴨赤[illegible]　自炭ノ忠知

舟[illegible]　亀洞

朝鮮[illegible]　村俊

井を[illegible]月[illegible]
[illegible]裸[illegible]

汗ばして谷こえ来むと沢蟹に　冬松

海苔膳乃壺焼きさく沢蟹に　利童

炭竈乃煙物さびしき夕暮れ　亀洞

勝手なる味噌とむさぶる　塩車

火ばちして我はうきたる蚊を精　加賀　一笑

つこうして庇起せば寒き　亀洞

冬籠ア、淋しさよりそれさへも　芭蕉

歳暮

餅つきや物もおかしく酒くらひ　李下

吾書てくく矣蚊のあとり年の暮　尚白

もち花の後をすくもとぬへ　野水

もくもくと迎てく楷つくるる菜畑に　亀洞

蝶ゝてひ梅さきけるる凧の風　一髮

木曽の月こてこるくれけく

とて柿の実半分れこるる

年の暮さしおかりよや

きむとて

さしの〻紙帋賣川ゟ〻と　荷今

門松なら〻ゟ〻路一寸ゟし　内習

田ゟ〻竜遊ゟ〻ゟ〻さゟ　亀洞

求光
四文